

Ⅳ 労働者福祉事業

1. 労働相談

地区労働者の就労時の手配師の介在や劣悪な労働環境の中で、賃金未払や労働条件違反が多発している。

センターでは、労働相談係の窓口を設けてこれらの相談を受けている。

労働相談を処理するにあたっては、基本的には労働者が自覚的に労働者としての諸権利を守ってゆくよう、あくまで援助するという立場をとっている。

(1) 労働相談取扱・処理状況

(イ) 労働相談取扱状況

労働相談の新規受付は、3,281件で、前年度より228件 6.5%の減である。このうちその場で処理しえたもの（処理票）は、673件20.5%、残り2,608件79.5%は継続ケース（処理記録）となったものである。今年度の取扱実件数は、前年度からの繰越相談377件を含め、3,658件であった。

継続ケースの再来相談件数は延10,936件で、前年度より1,309件10.7%の減である。

(ロ) 労働相談終結状況

今年度取扱った3,658件の終結状況は、解決2,994件、中止387件、次年度への繰越277件であり、解決率は81.8%であった。

解決2,994件のうち、継続ケースの解決は2,321件であり、支払金額の判明しているものが2,160件69,357,764円である。これは、前年度にくらべ14件（0.7%）9,113,443円（15.1%）の増である。解決した件数全体の賃金総額は推定9,600万円位になるものと思われる。

なおセンター登録・未登録事業所別、解決状況をみると、手配師などの介在

が多く雇用条件のあいまいな未登録事業所での解決率がやはり低いものとなっている。

今年度終結した労働相談ケースで条件違反を伴っていたケースは158件で、前年度より41件20.6%の減である。条件違反の主な内容には、作業内容や契約日数、賃金日額などの相違、残業手当、手配料問題などである。

い) 生活相談等その他の相談

地区労働者にとって、働いた賃金が払われないということは、即生活の困難を来たすことであり、労働相談に伴う生活相談もそれだけ切実なものとなってくる。今年度640件で、前年度より94件もの減となっている。その他の相談は7,398件である。

(2) 関係事業所分布と就労現場分布

(イ) 労働相談関係の実事業所768社を所在地別にみると、大阪府下174社(22.7%)、近畿他府県371社(48.3%)、その他223社(29.0%)である。このうち、センター登録事業所は498社(64.8%)で、未登録事業所は270社(35.2%)である。

(ロ) 労働相談の就労先2,722件を所在地別にみると、大阪府下403件(14.8%)、近畿他府県1,473件(54.1%)、その他846件(31.1%)となっており、近畿以遠の遠隔地での就労が増加していることを示している。

(3) 労働基準監督署への申告

今年度において、労働基準監督署へ申告した相談ケースは、35件で前年度より69件の減である。今年度取扱った申告ケース89件(前年度より繰越54件含む)中、解決したケースは44件である。中止は22件で、次年度への繰越しとなった継続ケースは23件である。府県別にみると、姫路をかかえた兵庫が13件と最も多く、次いで愛知の8件、京都4件、滋賀5件となっている。

(4) 労働相談の内容

- (イ) 未払の労働日数は、最高 46.5 日分、最低 0.5 日分で、平均 5.5 日分、契約中途でしかも短期でやめる傾向が続いている。
- (ロ) 就労実態で、期間雇用の契約は平均 20.0 日である。中途退職者は 1,813 件 (73.5%) で、契約満了又は契約延長の就労者は 257 件 (10.4%)、その他 396 件 (16.1%)、別件・不明 242 件である。
- (ハ) 退職理由の主たるものは、仕事、労働条件、宿舍などの不満からが 990 件 (43.6%)、自己都合 (健康上他) が 940 件 (41.4%) である。
- (ニ) 退職時に、事業所に退職の申し出をしたものが 1,516 件 (64.2%)、無断退職 (トンコ) が 845 件 (35.8%)、また賃金精算の申し出をしたものが 1,263 件 (56.7%)、未請求が 965 件 (43.3%) である。
- (ホ) 就労の経路は、センター窓口紹介が 557 件 (25.7%) で、センター寄場周辺での求人によると判明したのが 1,325 件 (61.2%)、その他 284 件 (13.1%) で、手配師の介在も依然としてあとを断たない。
- (ヘ) 今年度労働相談において、問題のある事業所として「求人受理の一時停止」措置をとったものが 6 社あり、「就労をさけるよう」労働者むけの掲示を行った。

労働相談取扱・処理状況

年 月	労働相談（賃金未払・条件違反）									
	取扱状況					終結状況				
	新規			再来相談 （継続）	④ 小計	解決			支払金総額（判明分）	
	相談 記録	処理票	計			相談 記録	処理票	計	件	円
61年	259	109	368	1,148	1,516	218	109	327	210	6,611,272
4 60年	262	77	339	981	1,320	193	77	270	187	4,748,541
	197	83	280	1,093	1,373	220	83	303	205	5,216,819
5 60年	223	57	280	920	1,200	162	57	219	153	3,595,668
	221	69	290	878	1,168	175	69	244	163	4,719,054
6 60年	186	77	263	817	1,080	178	77	255	146	4,798,923
	172	50	222	701	923	169	50	219	152	5,540,811
7 60年	183	78	261	836	1,097	168	78	246	141	3,718,196
	181	60	241	724	965	167	60	227	152	4,480,780
8 60年	202	40	242	903	1,145	174	40	214	160	3,954,058
	231	64	295	922	1,217	184	64	248	171	4,664,930
9 60年	242	71	313	1,013	1,326	205	71	276	192	3,986,675
	254	55	309	987	1,296	190	55	245	183	6,046,432
10 60年	285	68	353	1,182	1,535	214	68	282	208	5,720,092
	254	51	305	996	1,301	228	51	279	214	8,943,958
11 60年	293	72	365	1,160	1,525	224	72	296	214	7,291,738
	238	43	281	961	1,242	241	43	284	224	8,802,148
12 60年	229	59	288	1,315	1,603	271	59	330	244	8,539,173
62年	146	29	175	739	914	145	29	174	115	3,266,815
1 61年	155	56	211	895	1,106	128	56	184	112	3,460,343
	236	32	268	884	1,152	186	32	218	180	5,348,917
2 61年	219	50	269	1,034	1,303	196	50	246	187	5,224,354
	219	28	247	903	1,150	198	28	226	191	5,715,828
3 61年	250	75	325	1,189	1,514	229	75	304	202	5,206,560
61年度合計	2,608	673	3,281	10,936	14,217	2,321	673	2,994	2,160	69,357,764
60年度 合計	27,29	780	3,509	12,245	15,754	2,342	780	3,122	2,146	60,244,321

(昭 和 6 1 年 度)

			そ の 他 の 相 談						① + ② 合 計
中止	結のう ち条件選 を伴う もの	次月繰越 相談記録	労働相談に伴う生活相談				その他	② 小計	
			措 置 内 容						
			施 設	現 金	そ の 他	計			
33	10	385	5	85	2	92	767	859	2,375
25	12	370	4	40	4	48	639	687	2,007
24	9	338	5	59	4	68	676	744	2,117
28	9	403	10	67	11	88	760	848	2,048
24	9	360	2	41	3	46	594	640	1,808
20	9	391	5	57	3	65	847	912	1,992
31	10	332	1	29	17	47	680	727	1,650
46	12	360	3	69	7	79	797	876	1,973
35	15	311	4	24	9	37	577	614	1,579
24	9	364	2	66	21	89	700	789	1,934
39	11	319	7	23	0	30	560	590	1,807
26	35	375	5	54	6	65	666	731	2,057
24	14	359	3	26	5	34	623	657	1,953
26	17	420	3	69	4	76	736	812	2,347
38	30	347	4	14	1	19	567	586	1,887
17	12	472	2	48	2	52	567	619	2,144
56	8	288	0	28	7	35	614	649	1,891
36	23	394	3	37	3	43	658	701	2,304
31	20	258	3	40	69	112	614	726	1,640
19	17	402	3	33	8	44	694	738	1,844
23	13	285	2	23	37	62	525	587	1,739
21	17	404	3	40	1	44	647	691	1,994
29	9	277	1	29	28	58	601	659	1,809
48	27	377	4	35	2	41	668	709	2,223
387	158	277	37	421	182	640	7,398	8,038	22,255
336	199	377	47	615	72	734	8,379	9,113	24,867

労働相談処理記録終結内訳

解決内容	持参あり	262件	11.3%
	送金あり	1577件	67.9%
	解決報告あり	191件	8.2%
	解決と推定	234件	10.1%
	特別会計繰入れ	11件	0.5%
	その他	46件	2.0%
	(小計)	2321件	100%
中止内容	連絡不能	18件	4.6%
	取りにいかず	17件	4.4%
	その後来所せず	222件	57.4%
	事業所へ返送	35件	9.0%
	その他	95件	24.6%
	(小計)	387件	100%
次年度繰越		277件	
合計		2985件	

センター登録事業所、未登録事業所別
解決率

センター登録事業所	相談件数	2179件	解決率
	解決件数	1929件	88.5%
		中止件数	250件
センター未登録事業所	相談件数	529件	解決率
	解決件数	392件	74.1%
		中止件数	137件

受付日より解決処理までの日数

最長	2年326日	特別会計繰入および中止のケースを除く
最短	1日	
平均	9日	
内訳	1～5日	855件
	6～10日	378件
	11～20日	340件
	21～30日	194件
	31～90日	292件
	91日以上	262件

相談回数

最多	79回	回数には中止ケースも含む	
最少	2回		
平均	4回		
内訳	2～3回		1,131件
	4～6回		968件
	7～10回		384件
	11～20回		187件
訳	21～30回	17件	
	31回以上	21件	

労働基準監督署申告ケース取扱状況

	前年度より継続分	今年度申告分	計
申告	54	35	89
解決	20	24	44
中止	15	7	22
次年度	19	4	23

労働基準監督署申告状況（昭和61年度）

（件数）

大阪	堺	2	滋	大津	3
兵庫	姫路	4	賀	八日市市	2
	西宮	2	愛	名古屋東	1
	神戸西	1	知	豊橋	3
	淡路	1		岡崎	4
	高砂	1	石川	加賀	1
	伊丹	2	長野	伊那	1
	尼崎	2	香川	丸亀	1
京都	園部	4		合計	35

相談労働者の就労経路

		昭和61年度	
		件数	%
センター窓口紹介		557	25.7
手配師 又は 従業員	センター寄場	1252	1279 59.1
	センター周辺	3	
	西成外駅頭等手配	17	
	その他・不明	7	
事業主	センター寄場	73	75 3.5
	その他・不明	2	
新 聞		16	0.7
知 人 の 紹 介		91	4.2
自 分 で 連 絡 と り		143	6.6
公 共 職 業 安 定 所		5	0.2
計		2166	100.0

別件・不明

542

労働相談関係事業所所在地分布状況（昭和61年度）

近畿地方 545 (71.0%)	大阪	大阪市	堺市	東大阪市	茨木市	その他
	174	55	18	4	12	85
	兵庫	姫路市	尼崎市	神戸市	伊丹市	その他
	148	30	29	16	9	64
	京都	京都市	綴喜郡	宇治市	亀岡市	その他
	94	45	4	8	3	34
	滋賀	大津市	草津市	甲賀郡	その他	
	73	16	11	14	32	
	奈良	奈良市	北葛城郡	生駒市	吉野郡	その他
	53	10	7	2	6	28
和歌山	那賀郡	その他				
3	1	2				
東海地方	愛知	三重	岐阜	静岡	岡	
122 (15.9%)	87	22	6	7		
北陸地方	富山	福井	石川			
45 (5.9%)	21	15	9			
甲信越地方	長野	山梨	新潟			
13 (1.7%)	11	1	1			
中国地方	岡山	鳥取	広島	島根	山口	
24 (3.1%)	14	4	4	2		
関東地方	千葉	東京	神奈川	埼玉		
15 (1.9%)	1	6	7	1		
その他	香川	福岡				
4 (0.5%)	3	1				

登録・未登録別

大阪府下	登録事業所	125	174	22.7%
	未登録事業所	49		
近畿他府県	登録	287	371	48.3%
	未登録	84		
その他	登録	86	223	29.0%
	未登録	137		
計	登録	498	768	100
	未登録	270		

労働相談関係就労現場分布状況（昭和61年度）

近畿地方 1876 (68.9%)	大阪	兵庫	京都	滋賀	奈良	和歌山
403	581	387	290	195	20	
東海地方 435 (16.0%)	愛知	三重	静岡	岡	岐阜	伊
271	109	30	25			
北陸地方 254 (9.3%)	富山	石川	福井			
107	111	36				
甲信越地方 63 (2.3%)	長野	新潟				
57	6					
中国地方 48 (1.8%)	岡山	広島	島根	山口		
20	8	17	3			
関東地方 28 (1.0%)	神奈川	千葉	東京	茨木	埼玉	栃木
13	3	9	1	1	1	
四国地方 16 (0.6%)	香川	愛媛	徳島			
11	4	1				
その他 2 (0.1%)	福岡	宮崎				
1	1					

相談労働者の就労・退職の実態

	件	%	(窓口紹介分)	
中途退職	1813	73.5	402	75.8
契約満了	104	4.2	28	5.3
契約延長	158	6.2	36	6.8
3カ月以上の長期	0	0	0	0
期間の定めなし	185	7.5	4	0.8
現金	5	0.2	2	0.4
労災・解雇	206	8.4	58	10.9
計	2466	100.0	530	100.0
別件・不明	242		25	

退職申出・精算申出の有無

		昭和61年	
		件数	%
退職申出	有	1516	64.2
	無	845	35.8
	計	2361	100.0
精算申出	有	1263	56.7
	無	965	43.3
	計	2228	100

(判明分のみ)

雇用契約期間別就労内訳

(未登録事業所分)

労働条件 (未登録事業所分)

賃金	平均	9,016円 (職種)	
	最高	18,000円 (鳶)	
	最低	4,000円 (炊事)	
食費	喰抜	233件	56.8%
	有額	件数	177件
平均		1,569円	
最高		2,100円	
最低		800円	

期間	年度	昭和61年度	
		件数	%
7日以内の契約		1	0.3
10日 契約		60	15.6
15日 "		130	33.8
20日 "		22	5.7
1カ月 "		84	21.9
3カ月以内の契約		4	1.0
3カ月を超える長期		5	1.3
期間の定めなし		77	20.1
現金		1	0.3
計		384	100

未払労働日数

	昭和61年度
平均日数	5.5日
最多 "	46.5日
最少 "	0.5日

(注) 労働者の申告によるもの

条件違反内容

条件違反 別件など	作業内容、支払日	80件	作業内容の項に は契約日数 賃金には食費、 手配料を含む
	賃金、残業手当	57件	
	その他、別件	21件	
	合計	158件	

相談労働者の雇用保険加入の
有無（判明分）

	加 入		未加入
	有 効	無 効	
人 数	782	45	295
%	73.7		26.3

相談労働者の年齢（判明分）

最 高	72才
最 低	19才
平 均	46才

退 職 理 由

窓口紹介分

1.	件	%	健康上の理由(身体の具合が悪く)	590	26.0	件	%
				件	%		
自己の都合によるもの	940	41.4	遊びに出てそのまま帰らず	65	2.9	159	32.4
			酒の飲みすぎケンカで居づらくなる	105	4.6		
			帰省など他用ができたため	68	3.0		
			その他(ただ何となく友人がやめたので)	112	4.9		
2. 仕事上の不満によるもの	485	21.4	仕事がつい	126	5.6	110	22.4
			使い方が荒い(休憩がないなど)	82	3.6		
			休みが多い(雨や仕事がヒマで)	99	4.4		
			仕事がおもしろくない嫌になった	86	3.8		
			その他(仕事先でのトラブルなど)	92	4.0		
3. 契約時の労働条件が事実と相違したため	130	5.7	契約日数の違い(支払日の遅れも含む)	34	1.5	48	9.8
			賃金額の違い	11	0.5		
			作業内容の違い	46	2.0		
			飯代、残業手当、手配料等の問題	22	1.0		
			その他(預けなど)	17	0.7		
4 飯場の待遇・居住性が悪いため	375	16.5	雰囲気が悪い(酒ぐせの悪いのが多い等)	102	4.5	99	20.1
			暴力をふるわれた(オヤジ・ボーシ・若い衆)	15	0.7		
			金を貸してくれない	47	2.1		
			諸式施設が悪い(ふとん・風呂・食事など)	136	6.0		
			オヤジがガミガミうるさい	25	1.1		
			その他(いやがらせなど)	50	2.1		
5. 解雇されたため	65	2.9	出てゆけ(酒ぐせが悪いケンカなどで)	11	1.5	14	2.9
			やめて帰れ(仕事ぶりが悪い、休みがち)などで	30	1.5		
			仕事がないため	24	1.1		
6. 契約満了によるもの	120	5.3		120	5.3	28	5.7
7. 労災事故のため	57	2.5		57	2.5	8	1.6
8. 倒産のため	3	0.1		3	0.1	0	0
9. その他	94	4.2		94	4.2	25	5.1
計	2269	100		2269	100	491	100

2. 福利厚生

労働福祉係には地区労働者の就労と生活に関する様々な相談がよせられ、その内容はきわめて複雑多岐にわたっている。そして相談の内容によっては地区内外の関係機関に連絡して解決しなければならないことも多い。

(1) 健康医療相談

(イ) 医療を求める労働者に対し、

- ① 医師の手に委ねる必要がない軽度の外傷手当、
- ② 家庭薬（胃腸薬）の供与、
- ③ 治療費に事欠く労働者で、専門医の診療を要する者に大阪社会医療センターへの診療依頼書の発行（大阪社会医療センターに設置されていない科目については、大阪市立更生相談所へ相談に行かせる）
- ④ 急患・重症については、救急車の出動要請、等を行っている。

本年度の外傷手当は2,236件、家庭薬投与171,808件、大阪社会医療センター診療依頼は7,759件、救急車による措置は36件、他機関紹介は1,974件であった。

(ロ) その他健康医療相談として

- ① 健康保険の傷病手当金の支給を受けたいが、入院費の割負担が大きくて困っている。
- ② 入院が必要と言われたが、差額ベット代・保証金・保証人に困っている。
- ③ 病院で労働不能と診断されたが、民生福祉の窓口では自己退院・強制退院などの前歴があるため措置してもらえない。
- ④ 辻強盗（シノギヤ）にやられ、何もかも盗られた。負傷のため働けない。
- ⑤ 社会保険の窓口で健康保険の印紙をはって来るように言われたが、事業所がはってくれないので困っている。

⑥ 健康保険の手続きをやったが、出張仕事に行くので仕事先まで送ってほしい。

⑦ 西成保健所が行った結核検診の結果を知りたい。

などの相談がある。本年度は1,701件の相談があった。

(2) 一般生活相談・家庭身上相談等

(イ) 短期宿泊（短泊）及び生活援助（小口）

短期宿泊は、仕事にアブレたり、働いた賃金を受けられなかったり、労災手続が遅れたり、その他の事情によって、その日の宿泊に困っている労働者に、宿泊と食事の提供を自彊館に依頼しているものである。

本年度は1,908件の相談をうけ、897件の措置依頼を行った。

生活援助は、就労・賃金受領・労災手続等のための交通費に困っているものや、その日の食事代や宿泊費が不足しているものに少額の金銭的援助を行っているものである。

本年度は695件の相談をうけ、479件援助を与えた。

取扱状況は別表のとおりであるが、月々でみれば（日々の場合も同様であるが）仕事の少ない月や雨が多い月は取扱数が多い。

(ロ) 労働者疾病援助

不幸にして長期入院を余儀なくされたり、辻強盗（シノギヤ）にやられたりするなど、困窮している労働者に対し、1名あたり2千円を限度とした疾病給付金（見舞金）や下着など必要な日用品を見舞品として支給している。

本年度は、物品の援助を160件行ったが、疾病給付金の対象者は4名であった。

(ハ) 住民票・戸籍抄本などとりよせ手続

この種の相談は最近多くなっている。その理由は、雇用保険や健康保険の手続上必要と指示されたものとか、就職のため必要と指示されたものが殆んどで

ある。まれには結婚のためとか、パスポートを作るためとかいうのがある。地区労働者の場合は、住民票が放置されたまま職権により抹消されているケースが多く、まれなケースとしては、戸籍上からも抹消され、死亡扱いになっていることさえある。

本年度は、1,507件の相談を受け、とり寄せ手続援助をしたのが645件にも及んだ。

(二) 来信物の取次ぎ

来信物の取次ぎは、ドヤ（簡易宿泊所）に起居し、居所が一定しない労働者の「センターを手紙等の着信場所に貸してほしい」といった申出に応える形で定着化したものである。

本年度では、1,934件の来信物を取り次いでおり、特徴的なこととしては4月～7月と正月前に現金書留、電信為替が多い。

4月～7月の時期は公共工事の端境期・梅雨期で求人減少期のため生活に困窮し、やむにやまれず親兄弟に助けをもとめることによるものと思われる。

(三) 電話貸付

電話貸付の主な内容は、事業所・公共機関・病院等への連絡・問合せであり、特徴的なことは求人減の時期における求人自己開拓のための電話貸付が多いことである。

本年度は1,128件の貸付をおこなった。又、事業所の電話番号を教えてほしいという問い合わせも多く本年度は1,583件あった。なお、親元や兄弟の所に掛ける電話はコレクトコール制度を利用する様すすめている。

(四) たずね人

この相談は労働者からのそれではなく、たずねる相手がこの地区に来ていると思われるということで、親兄弟などの身内の方・友人等が、直接センターに

来所されたり、電話で依頼されたりするものである。

その内容は「長い間、消息が途絶えて心配していたが、西成で働いているのでは？と人に聞いて……」「父母・子供が病気」あるいは「キトクであるので至急連絡を取りたい」等々といった切実なものがほとんどである。ここ数年「サラ金被害」によるものが増えているのも特徴である。

たずね人を探し出すには、日雇労働者被保険者名簿を手掛りにする場合もあるが、取得時の住所と現在のそれとが異なる場合がほとんどなので、センター掲示板などへの掲示による方法に頼らざるを得ない。なお、掲示期間は6カ月としている。

本年度は、相談が202件あり、掲示したものが112件、このうち解決したのが51件であった。

(3) 広 報 活 動

昭和53年1月から発行してきた広報紙『センターだより』は、昭和62年3月には118号を迎えた。月刊で2,000部（B4版）づつ発行し、早朝詰所およびセンター3F事務所内の各窓口においている。内容的には、求人情報や労働・健康知識の普及さらに投稿作品やインタビュー記事等による労働者の生の声の把握と反映に努めている。

また、仕事や生活に役立つ『労働者便利帳』（A6版、60ページ）の61年度版も引きつづき3,000部発行し、利用労働者に好評であった。

(4) 文 化・娯 楽

余暇のあり方や健康の問題が深刻になりつつある現代、就労と失業の反復の中で酒やギャンブルに自らの心身をすりへらしがちな地区日雇労働者の生活環境のもとでは、「労働力の健全な再生産」に資するための文化や娯楽の問題は重要な意義をもつようになっている。

当センターでは、「将棋愛好者のつどい」を昭和61年4月11日に娯楽室で開催、昭和61年8月26日には“三角公園”にて「たそがれコンサート（大阪府音楽団）」を主催し、およそ1,000人の地区労働者が憩った。

(5) 各種技能講習の紹介

いろんな技能を身につけたい、いい条件で仕事をしたいという労働者の声が強くなり、昭和59年10月から大阪溶接協会の協力で「玉掛」「ガス・電気溶接」「クレーン」等の技能講習紹介を行った。

本年度は1,174名の相談を受け、534名の受講希望者があった。このように多くの労働者が関心をもっているものの、受講料の自己負担と受講のために2.3日仕事を休まなければならないこと、技能講習と仕事の紹介とが直接つながっていない等の問題もあって、実際の受講者となるとやはり少なくなる様である。

また、これにともなって各種免許、技能講習修了証等を紛失したので再交付を受けたいという相談も472件あり、発行先に連絡して再交付の手続きを行った。

(6) シャワー室の無料開放

総合センターにはシャワールーム・理髪室・ロッカー室・クリーニング室・娯楽室・食堂・喫茶室等が設けられているが、センターでは昭和50年度から夏冬の一定期間、シャワールームの無料開放を行っている。

(7) 日雇労働者福利厚生措置事業

地区日雇労働者の福祉の増進を図るために昭和46年夏期から支給され、ソーマン代・もち代の名で労働者に呼ばれている福利厚生措置の最近5年間の取扱状況は別表の通りである。

本年度は、夏期10,400円を21,455人に、冬期12,100円を22,138人に支給した。

(8) 雇用（失業）保険と健康保険 =参考資料=

アブレ手当と労働者から呼ばれる雇用保険の日雇求職者給付金は、地区労働者の生活を支える大きな柱となっている。健保も病気や負傷の多い地区労働者の医療、入院時などの生活保障に大きな役割を果たしている。職安、社保での最近5年間の取扱状況は別表の通りであるが、昭和59年9月のアブレ手当増額（1級4,100円→1級6,200円）以降、あいりん職安の有効求職数が急激に増加、昭和62年3月末で24,458となった。3年前に比べると9,000近くもの増である。

一方、健保の方は、健保改正による給付内容の低下や、未適用事業所での就労（申立）書の採用などで有効手帳所持者は逆に減少をみせている。

医療相談措置状況

項目 年月	家庭薬投与				外傷手当		医療センター 依頼	救急車	他機関 紹介	健康 医療 相談
	早 朝		事 務 所		早 朝	事務所				
	健胃錠	クレオソート	健胃錠	クレオソート						
61年4月	6,179	3,617	2,702	1,352	18	152	842	2	331	40
5月	6,666	4,392	2,620	1,610	23	142	687	7	233	90
6月	6,690	4,848	2,786	1,768	50	168	723	4	212	120
7月	6,960	5,358	3,227	2,298	82	195	688	1	195	149
8月	6,407	5,195	2,652	1,984	32	173	654	4	157	111
9月	6,605	4,919	2,525	1,655	47	140	546	3	144	170
10月	6,602	4,298	2,672	1,455	42	141	699	1	139	190
11月	6,317	3,679	2,335	1,327	50	69	550	2	122	162
12月	5,785	3,210	2,482	1,266	32	112	566	2	143	173
62年1月	4,496	2,673	2,575	1,374	22	147	561	3	96	196
2月	4,923	2,601	2,582	1,243	38	165	584	4	93	175
3月	5,661	3,143	2,756	1,338	41	155	659	3	109	125
61年度計	73,291	47,933	31,914	18,670	477	1,759	7,759	36	1,974	1,701
(60年度計)	67,951	49,073	25,328	15,505	246	1,545	8,325	27	3,315	

短期宿泊・生活援助取扱状況

項目 年月	短 期 宿 泊			生 活 援 助		
	相 談	措 置	返 戻	相 談	措 置	返 戻
61年4月	215	102	78	86	27	13
5月	257	107	59	159	74	12
6月	233	105	42	95	36	12
7月	200	95	58	93	31	10
8月	146	74	49	79	47	13
9月	126	70	47	64	29	11
10月	130	53	49	63	23	14
11月	72	29	48	46	25	17
12月	107	43	45	38	15	17
62年1月	149	73	37	77	33	14
2月	150	67	61	102	69	17
3月	150	79	34	99	70	17
61年度計	1,935	897	607	1,001	479	167
(60年度計)	2,141	1,008	681	1,157	585	270

生活身上相談

項目 年月	緊急施設(贈品)		戸籍・住民票など		郵便物			落し物・預り物		尋ね人
	金 銭	物 品	相 談	代理請求	受 理	渡 し	代理発送	受 理	渡 し	
61年4月	1	16	101	33	155	136	49	13	6	21
5月	0	18	124	53	182	173	43	25	5	20
6月	1	14	133	63	212	197	71	29	31	12
7月	0	13	151	59	202	175	68	22	11	19
8月	0	14	122	58	143	148	49	24	13	12
9月	0	14	153	70	160	134	73	30	11	26
10月	0	17	152	65	170	149	70	21	4	14
11月	1	8	102	48	144	143	55	15	6	14
12月	0	12	97	34	145	146	39	23	8	17
62年1月	0	12	132	53	141	116	57	16	6	14
2月	1	10	121	65	134	132	69	30	7	20
3月	0	12	119	44	146	140	48	19	11	13
61年度計	4	160	1,507	645	1,934	1,799	691	267	119	202
(60年度計)	0	67	1,112	469	1,702	1,580	508	189	58	254

労働関係相談その他

項目 年月	就 労 関 係	事 業 調 べ な ど 電 話	電 話 貸 付	雇 用 保 険 等	技 能 講 習		免 許 ・ 資 格	そ 相 の 他 の 談	総 合 案 内	そ 来 の 他 の 所	近 況 報 告	泥 酔 者
					相 談	申 渡 込 書 し						
61年4月	169	185	163	8	126	64	51	162	206	178	136	180
5月	153	181	141	66	131	36	44	97	180	135	85	204
6月	87	159	128	79	131	53	58	62	221	142	86	180
7月	78	125	118	90	114	78	55	127	251	259	91	156
8月	72	117	83	78	55	7	32	119	206	264	78	141
9月	74	125	71	100	81	39	38	62	216	199	72	112
10月	89	132	89	95	87	51	42	46	225	188	78	142
11月	81	112	69	80	51	20	18	39	198	225	82	143
12月	96	119	90	81	94	56	23	77	230	480	77	139
62年1月	73	119	77	83	111	43	35	94	149	276	75	133
2月	73	108	50	102	100	32	30	78	198	146	75	141
3月	75	101	49	88	93	55	46	145	212	135	76	123
61年度計	1,120	1,583	1,128	950	1,174	534	472	1,108	2,492	2,627	1,011	1,794
(60年度計)	1,660	1,837	1,376	666	1,274	557	259	1,567	2,328	2,235	1,105	1,598

日雇労働者福利厚生措置

年度	夏 期			冬 期			合計 支給総額
	支給金額	支給人員	支給総額	支給金額	支給人員	支給総額	
57	8,100	13,779	111,609,900	9,900	14,215	140,728,500	252,338,400
58	8,700	14,098	122,652,600	10,500	14,622	153,531,000	276,183,600
59	9,300	14,067	130,823,100	11,100	16,547	183,671,700	314,494,800
60	9,900	18,707	185,199,300	11,600	20,187	234,169,200	419,368,500
61	10,400	21,455	223,132,000	12,100	22,138	267,869,800	491,001,800

雇用保険業務取扱状況（あいりん職安）

注）本庁取扱分

年度	新規求職者数	年度末有効求職者数	保険金給付実人員 （各月合計）
57	2,592	15,128	121,066
58	2,758	15,673	129,422
59	4,882	18,881	151,388
60	4,715	22,484	197,823
61	3,807	24,458	229,179

健康保険取扱状況（玉出社保）

年度	被保険者手帳				受給資格票				受給資格 確認	傷病手当金給付	
	新規	更新	再交付	年度末有効	新規	更新	再交付	計		件数	金額
57	2,100	8,174	2,496	13,851	1,087	7,452	2,041	10,580	53,914	4,597	269,986,473
58	2,221	8,209	2,475	14,662	1,248	7,465	2,216	10,929	59,502	4,018	205,608,492
59	3,040	7,876	2,660	14,893	1,366	6,883	1,974	10,223	55,908	3,506	183,410,898
60	2,439	7,409	2,365	13,194	1,237	6,104	1,836	9,177	43,849	1,885	99,981,411
61	2,150	9,191	2,648	13,561	1,527	8,251	2,139	11,917	62,429	2,037	98,370,463

おゆれいく



家なびと

国際居住年 第1号



今年、「国際居住年」といわれています。国連が世界共通の問題に焦点をあて、その解決を促そうと定めたものです。「ホームレス家のない人々のための住居の国際年」ということで、が、地区労働者にとって、生活の本拠地としての住居の問題はどうなっているのか考えてみました。

「青カンヤ」という答えがときどき返ってきます。昭和六十一年十月の調査のときも市内の地下街や公園で寝ていた人が、わかっただけでも一、七五人もいたことが報告されています。

国際居住年
寝場所をもとめて
広がる
青カンの人々

Y&A
長居公園で寝て、明け方仕事しに西成に戻る途中、パトカーに呼び止められたんや。長居には30人ほど寝てたわ。

Y&A
やっぱり誰にも邪魔されんと思たら、ちよと離れたところでオレは寝てる。人に見つかうと追いつけないうえ、寒いし。



日本の住宅事情は、ウサギ小屋といわれているほどの狭さで国際的にも不評ですが、地区労働者の多くが寝起きしているドヤ（簡易宿泊所）はいったい何といえはいいのでしょうか。そして、そのドヤにも泊れない人がいるのも現実です。寒死にさらされ、仕事も途絶える年末、年始には、大阪市の越年対策事業として、南港に臨時宿泊所が設けられ、一、〇〇〇人並ぐの人が青カンを免かれました。今年もそれでもなお、青カンをしている人がありました。いろいろな事情で青カンを余儀なくされるとはいえ、仕事の落ちこむ時に大きく増えることから明らかです。そして、青カンが働ける体力、気力をむしろ減らしていくのも事甚です。

2月の求人情報

昨年同月をうまわる求人数を
一月の現金求人人は、昨年同月比で6%の増となりました。期間求人人は、センターの窓口紹介と職場での求人ブラカードによる相対求人合計が6%増となりました。

二月にはいつてからも現金・期間求人とも昨年二月をかなり上回る勢いで推移しています。これから年度末にかけて職場もセンター窓口も活況を呈するものと予想されます。

労使相談のロードパス

無断退職は損ト!!

たとえ職場がきたなかったり、大部屋で人間関係がうまくいかなかったり、飯が悪かったり、元請の監督が休職させてくれる監視りしても改善されることなく、トニコした君がいつまでもたっても悪者にされてしまいます。事業主がすぐ改善してくれそうになくても必ず退場理由を言って賃金の支払方法について話し合っけて帰ってきましょう。

投稿

ある年のつばやき.....

京都生まれの40才の男

つそに聞こえるかいけ
れど世の中いらい人間が
いるんだけど、見えな
い。聞こえない。そんな人
たちが日々暮らして、四苦八苦
している様を見ようとな
っているのか？ 苦しみ
のたうっている人が存在し
ていることこそ、真実だ
べきことなのに、この画の
歴史の中には見えない

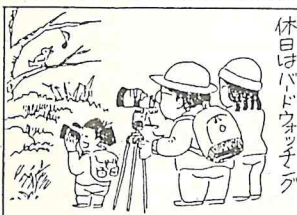
まるで気楽なその目暮し
だが、実はそれをこの思い
の中に現実に対する愚れと
たち切れない不幸が裏返し
ている。

だが、いったい誰をもって
私の存在が知らしめらるの
か。そればびんな印象の
中でかき消えるのが運命の
ような.....



うちはゆとり
ある真の中流
毎日サマサマ
毎日サマサマ

ママさん 117 あはら香



休日バドミントン
ママさん



ほんまに家の
中で見れる？



借金ト
り
こらア
きアを
カネ返せ



某飯場の暴力事件に抗議す

センター労働者のうち
現金求人と期間求人がある
が、いまだに期間求人にお
いては問題が多い。
このあいだも西宮のK組
の飯場で父の労働者が親方
世帯長等によって仕事を休
んだことを理由に殴ったり
けつたり暴力をうけ死ん
だ事件があった。
これら雇用主または元請
の意識の低さ、またセンタ
ーそのものの存在理由を問
いかける事件であると思っ
て、K組については、とにかく
いろいろなトラブルがあ
り、去年から組合をも退会
していたのだが、根本的
にはセンターへ入立りを許
して求人させていたことに
激を踏していたと思う。



今年度のもち代は...

● 11月・12月・1月と支給されたもち代
(冬期日雇労働者福利厚生措置)は支給
金額12,100円、支給人員は22138人でした。

たずね人

家族その他の方から連絡が
きています。心あたりの方
木人をお知りの方は、セン
ター労働局係までおこし
ください。

池 英一 (鹿児島・34)	笠井和彦 (大阪・21)
川合智明 (愛知・42)	倉本剛安 (熊本・60)
黒川茂弘 (大阪・48)	大森謙一 (北海道・43)
佐藤政司 (大阪・50)	小林 剛 (神奈川県・21)
小玉健一 (大阪・46)	西木利雄 (鹿児島・60)
斎藤 茂 (福岡・48)	新渡 港 (福岡・52)
井上光一 (奈良・52)	新渡 忠 (東京・48)
白井 薫 (奈良・61)	竹原啓介 (神奈川県・47)
谷本龍太郎 (愛媛・29)	竹田敏雄 (三重・60)
高瀬和夫 (愛媛・54)	橋本 信 (三重・39)
岡野和弘 (鹿児島・38)	宮 勝 (愛媛・46)
藤須啓三 (群馬・59)	花瀬 弘 (鹿児島・47)
吉川貴男 (兵庫・51)	松川良広 (香川・50)
真鍋謙次 (愛媛・45)	宮本 忠 (?)
向井一裕 (徳島・37)	吉田菜穂 (福岡・25)
山城康弘 (神崎・38)	徳田和哉 (福岡・54)
杉本 一郎 (大阪・55)	朝田邦之 (宮崎・40)
広瀬宇一 (?・41)	吉田 英 (福岡・ ?)

およびだし

センター労働相談係までおこしください。

栗野藤爾	赤本 弘一	井上 正久	正 美	三宅 康夫	維 正
大下広幸	大沢良男	小多正夫	小川正隆	藤原 吉田	巽 夫
鷹賀正美	大沢 秀吉	奥 秀吉	安藤正隆	吉田 信行	若林信行
大木良夫	奥 秀吉	奥 秀吉	青野三智雄		
日野良生	日野清一	日野清一	近藤繁雄		
上原英機	神ノ上敏雄	神ノ上敏雄	大野賢哉	原 和夫	正 直
四田 一	吉原 繁	吉原 繁	近藤繁雄	三浦 正	直 二
大西常司	倉田誠男	倉田誠男	各務元三	三浦 隆	三 隆
川島貞嗣	松野貞夫	松野貞夫	新垣英芳	山下信義	義 隆
岸上 裕	佐野正春	佐野正春	菅 保美	中村 正	正 隆
佐々木秀雄	曾田幸男	曾田幸男	菅 保美		
坂野野郎	竹本光男	竹本光男	高井 弘和	山田昌夫	夫 昌
坂上 秀	田中一夫	田中一夫	高井 弘和	山田三夫	三 夫
高橋 秀	池 永	池 永	富中光男	増田 寛	寛 隆
塚本賢郎	平敏好利	平敏好利	富永 勝	湯浅隆則	隆 隆
高本博文	田川裕一	田川裕一	中島 修	山内清光	清 隆
田川裕一	西内 謙	西内 謙	二本松芳照	芳賀敏広	敏 隆
西内 謙	中島 茂	中島 茂	上村 隆		
中島 茂	福 久元	福 久元	藤田正夫		
福 久元	藤原 武夫	藤原 武夫	藤田正夫		
下野田忠男	藤原 武夫	藤原 武夫	藤田正夫		
長谷川隆	藤原 武夫	藤原 武夫	藤田正夫		
三井哲男	藤原 武夫	藤原 武夫	藤田正夫		

結核検診

あいりん労働福祉センター北側で
結核検診をうけたい方は、次の
番号の方に前に注意を致しますの
で医師による無料検診を行います

西成保健所分室まで、高(632) 2600
までご連絡ください。あいりん会館3階

検診者数	1222	1244	1319	1403	1415
おしゃべり	73902	34325	38961	22663	51075
1454	1483	1497	1581	1677	1709
21529	19777	34000			39461
1710	1711	1741	1759	1809	1840
	46389	58000		78471	29926
1902	1905	1921	1922	1966	1972
6398		72986	10783	39179	42847
2021	BB762年 2月17日 検診までの分				
61433					

昭和 62 年 9 月 20 日 印刷
昭和 62 年 9 月 20 日 発行

発行所 大阪市西成区萩之茶屋 1 丁目 3 番 44 号

財団法人 西成労働福祉センター

電話 641-0131(代)